

製品安全データシート

製造者情報



本 社 〒590-0446 大阪府泉南郡熊取町成合北 574 番地の 1
TEL 072-451-2060 FAX 072-451-2061

作成・改訂 2011年3月11日

製品名 フレシ・オーP

物質の特定 単一製品・混合物の区別 混合物
一般用途 殺菌料製剤

成分

成分名	CAS No.	官報公示 整理番号	配合量(%)
亜塩素酸ナトリウム	7758-19-2	1- 238	8.3%
塩化ナトリウム	7647-14-5	1- 236	1.0%
炭酸ナトリウム	497-19-8	1- 164、1-310	0.1%
重炭酸ナトリウム	144-55-8	1- 164	0.1%
グリセリン脂肪酸エステル	79956-59-5	7-1145	0.5%
水			残量

国連分類:クラス8(有効塩素5%以上) 国連番号:1908

危険有害性の分類の名称 腐食性物質
 分類 危険性 酸化力が強く、濃縮すると可燃物となり、有機物に作用して、爆発の危険性がある。
 有害性 長時間皮膚に接触すると刺激作用があり、皮膚炎・湿しんを生ずる。目にはいると角膜が侵される。
 GHS分類 分類できない

応急措置 目に入った場合:直ちに清浄な水で十分洗浄したのち、直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合:水で十分洗い流す。その後外観に変化が見られたり、痛みが続く場合には医師の手当を受ける。

吸入した場合:直ちに空気の新鮮な場所に移し、保温安静に努め直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合:多量の牛乳を飲ませ、直ちに医師に相談する。

火災時の措置 消火方法 遠隔から大量放水する。

消化剤 大量の水をかける。

水が蒸発し濃縮されると爆発の危険性がある。

漏出時の措置 極少量の場合は、大量の水で洗い流す。

大量の場合には、チオ硫酸ソーダ等の還元剤(炭素、硫黄、その他の強力な還元剤は不可)を水にとかし、これを噴射する。チオ硫酸ソーダ使用の時は、3モル濃度硫酸を併用して少しずつ添加し分解を促進させる。急激な酸の添加は二酸化塩素ガス発生し、危険であるのでくれぐれも注意が必要である。上記処理後、ソーダ灰で中和後、大量の水で洗い流す。

取り扱い及び 関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。

保管上の注意 取り扱い 用途以外には使用しない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

保管 5℃以下30℃以上又は直射日光の当たる場所に長時間放置しない。冷暗所に貯蔵する。酸類、硫黄化合物、油脂その他の可燃性物質、及び酸化されやすい物質と一緒に貯蔵しない。

暴露防止措置 管理濃度 定められていない。

許容濃度 定められていない。

設備対策 取扱場所には局所排気装置を設ける。取扱場所の近くに

保護具	保護具	安全シャワー手洗い、洗顔設備を設置する。 呼吸用保護具:ハロゲン用防毒マスクを使用。 保護眼鏡:ゴーグル保護眼鏡を着用。 保護手袋:ゴムまたは塩ビ製手袋を使用。 保護衣:ゴム長靴、ゴム製全身保護衣を着用。
物理/化学的性質	外観等	薄黄色の溶液で特異な刺激臭有り。
	溶解度	∞(水に対して)
	pH	9.5~10.5
危険性情報	自己反応性	濃縮等手を加えた溶液は可燃性であり、有機物と接触させたり衝撃等を与えると爆発の危険性がある。
	反応性	強酸と反応して有毒な二酸化塩素ガスを発生する。
有害性情報	刺激性(皮膚、目)	長時間皮膚に接触すると刺激作用があり、皮膚炎、湿しんを生ずる。
	急性毒性	Wister 系ラット経口 LD50=♂158mg/Kg ^{※)} ♀177 mg/Kg ^{※)} DD 系マウス LD50=♂1600mg/Kg ^{※)}
		※)亜塩素酸ソーダ 25%水データ
	がん原性	現在データなし。
環境影響情報	分解性	現在データなし。
	蓄積性	現在データなし。
	魚毒性	現在データなし。
廃棄上の注意		多量に廃棄する場合は、廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
輸送上の注意		「取り扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意し、輸送する。
参考文献		1. 許容濃度の勧告(1992)日本産業衛生学会 産業医学 35巻

2. 製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会)
 3. 新版 危険・有害物便覧
-

注意事項 本安全データシートは通常の手理扱いを想定して作成したものです。安全データシートは暗然の保証を約束するものではありません。手理扱事業者は状況に応じた処置を行ってください。本データシートの内容は新しい知見により予告なく変更することがあります。

以上